

# 2023 年度（令和 5 年度）精密工学会高城賞 贈賞式

於：2024 年度 精密工学会 春季大会 贈賞式

2024 年（令和 6 年）3 月 13 日（水）午後 3 時より、**東京大学本郷キャンパス 安田講堂**にて、精密工学会高城賞の表彰式が執り行われ、理事長代理で高増常務理事が出席し、2 件の論文に授与いたしました。

1. すべり案内のしゅう動面油性状が摩擦特性に及ぼす影響

【精密工学会誌 89 巻 9 号】

木下功（安田工業(株)）,角田庸人（同左）,松原厚（京都大）

2. 線形状物体における高精度な形状予測のためのインスタンスセグメンテーションモデル

【精密工学会誌 89 巻 12 号】

内田滋穂里（オムロン(株)）,西本崇志（同左）,木下航一（同左）



高城賞とは、精密工学分野で独創性に優れ、工業的価値が高いと認められる論文で、その内容が産業界全体で実施されたものを対象とし、精密工学の基礎技術分野での産業界の活動を促進することを目的として贈賞されます。この賞は論文著者個人を贈賞するとともに、それを可能とした中心的研究開発実施機関もあわせて表彰する特徴のあるものです。

賞の名称の由来は、当財団に基金を出捐した創設者のうちのお一人で、精密測定技術の発展に貢献した技術者として精密工学会名誉会員であった元(株)東京精密の会長の高城誠氏の姓を冠して設置され、今年度は1990 年度から通算 34 回目（変更後は 26 回目）の贈賞となりました。

